

1 月 20 日：不動産株が買われ、VN 指数は続伸

取引終盤にかけて株価が大きく買われたことで、VN 指数は 1.56% 高の 1,465.30 ポイントで取引を終えた。

同指数は先日まで 4 日続落していたが、本日上昇し、2 日続伸となった。

ハノイ市場の HNX 指数も昨日まで 4 日続落していたが、本日は 0.61% 高の 411.8 ポイントで取引を終えることができた。

この日は不動産銘柄に底値買いが入り、多くの不動産銘柄がストップ高となった。上昇した銘柄にはアンザー不動産投資開発 (AGG)、ドリームハウス投資 (DRH)、アンズオンタオディエン不動産 (HAR)、バリア・ブントウ住宅開発 (HDC)、ホアンクアン不動産 (HQC)、イントレスコ不動産 (ITC)、ロンザン都市開発 (LGL)、サイゴン不動産 (SGR) といった中小型株が数多く含まれた。

一方で FLC グループ (FLC) は 8 日続落となった。同銘柄は同社の会長 Trinh Van Quyet 氏が事前報告なしに自己株式の売却を行った 1 月 10 日以降、およそ 50% 値下がりした。

大手建設会社のソンダーグループ、ビナコネックス、リラマといった建設、建材セクターの銘柄も大きく買われた。これらの銘柄は昨年末、投機的な銘柄とされていた。

さらに工業団地関連株も買われた。キンバックシティグループ (KBC)、タンタオ不動産 (ITA)、ロンハウ工業団地 (LHG)、SONADEZI (SNZ) はそれぞれ 3~7% 上昇した。

VN30 指数は 0.7% 高で取引を終えた。ベトナム投資開発銀行 (BID) は 7% 高と大きく上昇した。他にもビンホームズ (VHM)、マサングループ (MSN)、ホアファットグループ (HPG)、ヴィエティンバンク (CTG)、VP バンク (VPB)、ペトロベトナムガス (GAS) が 1% を超える上昇となった。

この日の出来高は前日と比べて、わずかに減少した。ホーチミン、ハノイ両市場の売買高はおよそ 8 億 7,300 万株、売買代金は 24 兆 8,000 億ドンとなった。

「今後、投機的な銘柄への利益確定売りが少しずつ弱まり、上昇の勢いはマーケット全体に広がる可能性があります」（MB 証券（MBS））

「また出来高の減少していることは好材料だ。100 ポイントを超える下げの後、重要なことは売り物が減少し、下げ幅が徐々に縮まり、マーケットが回復することだ」

外国人投資家はホーチミン市場で 1,560 億ドンを売り越し、ハノイ市場では 210 億ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。